

令和5年6月23日

大分大学「令和5年度 女子中高生の理系進路選択支援プログラム」活用のご提案

大分県 高等学校
校長 先生、教頭 先生殿

国立大学法人 大分大学
理工学部長 小林 祐司 教授
実施担当者 石川 雄一 教授

拝啓

時下益々御清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てを賜り誠にありがとうございます。大分県教育庁 高校教育課 支援(協力)

このたび国立研究開発法人科学技術振興機構 JST「令和5年度 女子中高生の理系進路選択支援プログラム」として、中学・高校(主に中学生)の女子生徒、保護者、教諭向けに複数の取組を実施することになりました。女子生徒だけでなく、男子生徒も参加可能な事業です。大分大学に加え、女性活躍推進に熱心な企業とも協働して、文系と理系進学に迷っている、もしくは入る前の生徒を意識したターゲットとしたアウトリーチ型の取組を実施します。基礎科学から最前線研究、企業のものづくり現場に触れる科学体験を通して、大学の教員と大学院生が、そして、企業の女性技術者(牽引者)が、双方連携して、生徒との「対話」を心がけます。生徒にとっては、家族やクラス内の日常接している「同質な他者」でなく、初めて会う大人「異質な他者」との対話経験になります。この「人と人のぶつかり合い」がきっかけとなって、自分の未来を自ら考え始めようと動き出すスイッチが入ることを期待しています。

具体的な、取組項目は次の通りです：

- **中学校での「出前講義」**—中学校と相談して内容を調整し随時実施
 - ①大学教員と大学院生による科学の面白さを伝える講義
 - ②女性企業人による「仕事の紹介」、「働きがい」と「働きやすさ」の講話
- **グローバル企業のものづくり現場での女性技術者と交流** (日帰りバスツアー 10/14 三井住友建設(株) 福岡アイランドシティの大型建造物、11/18 ソニーセミコンダクターマニュファクチャリング(株) 大分松岡の半導体製造現場)
- **親子で楽しむ夏休み体験実験**(大分大学旦野原キャンパス 8/26)
- **段階的なDX育成**(プログラミングなど、大分大学旦野原キャンパス)
- **大学院生との zoom オンライン懇談**(中学校と相談して調整し、2学期から週1回の頻度で、随時実施)

上記の詳細な内容は、次の Web サイト(現在、構築中、7 月末までには掲載予定)からご確認ください:

<https://www.st.oita-u.ac.jp/rike-goer/>

企業人との対話と半導体と建築のものづくり現場訪問は、キャリア教育として活用できます。企業との交流では、生徒(中学、高校)に加えて、保護者、教諭の参加も可能です。保護者の意識改革も必要とされています。

AI ネイティブ世代元年と言われておりますが、その 1 つのスキルが、プログラミングです。本企画でも「のめり込みプログラミング」として初級、中級、上級者に分けた体験演習を行います。それでは濃密な大人との対話が交わされます。

中学校での「出前講義」の内容は、科学の面白さを伝えることに力点を置いておりますが、高校生向けに最前線の科学研究の紹介も組み込んでいます。「抗体を超える抗体」や「オンラインで人肌の感触がわかる装置の開発」などの添付のエクセルファイルリストの緑色背景部分です。高校生の参加希望者は、原則、個人で上記の web サイト内の申し込みフォームへの入力で申し込みをお願いします。高校単位で、添付の出前講義リスト中の特定の話を希望したい、ご不明な点、取組について直接説明を聞きたい、実施について詳細に話し合いたいなどのご希望があれば、ご遠慮無く下記までご連絡ください。

保護者と教諭を対象とした「統計データ解析」も用意しました。高校の科目「情報」などに活かせるか判りませんが、こちらにもご参加のご検討をお願いします。

別添えで、本事業全体を示した募集チラシと取組のタイトルと概要をまとめたリストも同封しております。

教諭の働き方が熱い論点となっている最中で、今回の提案を出すことをお許し頂けるとありがたいです。今後とも、よろしく願いいたします。

敬具

問い合わせ先

大分大学理工学部 生命・物質化学プログラム 石川雄一
Tel 097-554-7907、 e-mail ishichem@oita-u.ac.jp

大分大学理工学部 総務係
Tel 097-554-7753、 kosomu@oita-u.ac.jp